6 . 北陸(地域別調査機関:一般財団法人北陸経済研究所)

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	良く	-	-	-
動向	なっている			
関連	やや良く	一般小売店 [精	販売量の動き	・販売単価は低下しているが、買上点数が増加してい
/ Jレ7主 \	なっている	肉](店長)	お安様の様子	る。売上もそれに伴い増加している。
(北陸)		一般小売店[鮮魚](従業員)	お各様の様子	・北陸新幹線の開業を控え期待ムードが高まってきている。 新幹線の開業前は観光客が減るのではないかと
		思」(1)(未見)		予想されていたが、入込客は減るどころか若干増えて
				いる。開業を見据えて新規の飲食店もかなり増え、そ
				れぞれがにぎわっている。既存の店舗もリニューアル
		- 45 - 1 W NK I	14 - 14 -	などを施し、集客は順調である。
		百貨店(営業担当)	お客様の様子	・台風の影響で客足は少ないが、気温が低くなったことから婦人服の売上が良い。ファッション商材もそう
		=)		たがら婦人服の売上が良い。ファッショフ間がもでう だが、羽織物の動きがとても良く、単価上昇につな
				がっている。
		スーパー (総務	来客数の動き	・衣料品では朝晩の気温が下がり、肌着、靴下、寝具
		担当)		などの実用品の売上が伸びている。食品では来客数は
				相変わらず前年を下回っているが、客一人当たりの買 上点数が前年を上回り、売上は前年と同程度をキープ
				工点数が前年を工画り、完工は前年と同程度をギーク している。
		スーパー (統	来客数の動き	・来客数ということでは3か月前からみると、10月に
		括)		ついては安定している。売出しについても、ほぼこち
				らの予測通りの来店になっている。10月だけをみてい
				ると、3か月前と違い、客が競合店の売出しなどには 左右されていないという状況がある。
		コンビニ(店舗	来客数の動き	・店舗近隣にある24時間営業の飲食チェーン店が営業
		管理)	N 1 XX 47 21 C	時間の短縮をした。そのためか、深夜の来客数が微増
				している。
		高級レストラン	販売量の動き	・北陸新幹線開通まで140日を切り、建設業界ではこ
		(スタッフ)		の30年で最も景気が良いという声を聞く。接待や社内 慰労会などの利用が増加している。
		観光型旅館(経	販売量の動き	・9月、10月と大型団体の取込みができ、前年比10~
		営者)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	20%の売上増になっている。
		タクシー運転手		・営業関係の県外からの出張が多くなっている。
			販売量の動き	・一過性ではあるが、秋は地域イベントが多数あり、
		員) 通信会社(営業	販売量の動き	イベント会場販促が好調だった。 ・人気のあるスマートフォン機種の在庫状況が改善せ
		担当)	放儿童の到ら	ず、欲しい客は増えているが商品が思うように入って
				こないため、今後の入荷状況次第で更に販売が加速す
				ると思われる。また、その機種がきっかけで来店し、
		通信会社(役	販売量の動き	別機種にする客も増えている。 ・継続して客の問い合わせ、申込数が増えている。新
		世后云社(12 員)		サービスの展開やプロモーションが奏功していると考
				える。
		住宅販売会社	お客様の様子	・来年からの消費税増税の可能性もあり、真剣に住宅
	亦わらわい	(従業員)	東京粉の動き	を検討している人が増加していると思う。
	変わらない	商店街(代表 者)	来客数の動き	・アパレルはますます、高品質、低価格、流行への要求がシビアになってきている。
		商店街(代表	お客様の様子	・暖かい日と寒い日が、交互にやってくる。着るもの
		者)		に迷いがあるのか、すっきりと冬物へ手が出ない状態
		文广 // / / /	お宮塔の塔フ	である。
		商店街(代表 者)	お客様の様子	・10月下旬に入って一気に寒さが増してきたが、秋冬物の買物客が期待していたほど伸びない。休日は観光
		1 a /		地などに出かけて、かと言ってお金は使わないことが
				多いようで、買物からは足が遠のいている様子であ
			L = 12 = 22 =	3.
		商店街(代表	お客様の様子	・当商店街の各店舗状況を聞き取りして感じることは、英兄などとは、
		者)		は、前月などとほとんど変わらないが、客は必要なも の以外はあまり買わない状況ということである。商店
				主と話をすると、生活に必要な物品は購入するが、ぜ
				い沢なものや高級品を買う人は少ないと言われる。
		百貨店(売場主	お客様の様子	・全体的には変化は見られないが、最近は月初に買物
		任)		が多く、月末に買い控え傾向が見られる。月内で買物
I	I			支出をコントロールしているように思われる。

百貨店(営業担 当)	i .	
4 7	お客様の様子	・10月、11月は冬のファッション商材や冬の暮らし商
 		品などが動く時だが、全体的には当地は気温が高め
		で、コートや鍋などの利用が少なく、シーズン商材が 【
		少し停滞している。日常的な食などについては、ほぼ
		前年並みであるが、一部シーズン商材が、天候のせい
		で少し落ちているかなというのが当月の状況である。
スーパー (店	来客数の動き	・ここ最近の流れからいくと、特に来客数の方は変わ
長)	不合奴の割ら	らない状況が続いており、この後もこの状況が続くの
区)		
→ 11º / F	いま見るむさ	ではと思う。
スーパー (店	販売量の動き	・客の買物状況をみていても、広告の品やセールの販
長)		売量が以前と変わりなく、極端に売れる商品も少なく
		なっている。ほかの業種での取扱いも増えているから
		だと思われる。
スーパー(総務	販売量の動き	・先月同様に一部商品の値上がりが続く中、販売量は
担当)		昨年並みに推移しており、特に変化はない状況であ
J /		る。
衣料品専門店	販売量の動き	・近隣の野菜中心の小さなスーパーが、最近来客数が
	別が重り割ら	
(経営者)		増えて忙しいと話している。高くはないかもしれない
		が、安いわけではない、なぜか。今まで働いていな
		かった奥さんも手伝って、家族だけで盛り上げている
		という話が新聞に載ったからである。しかし、その分
		どこかの店の売上が減少して困っているはずとか。消
		費が増えたわけではないそうである。
衣料品専門店	来客数の動き	・客単価は上がっているが、来客数の落ちが大きいた
(総括)		めるか月前と変わらずやや悪い。
家電量販店(店	販売量の動き	・昨年より新築需要が落ち込んだせいか、単価が下
長)	双儿童の新し	がってきている。
	も安様の様で	
乗用車販売店	お客様の様子	・例年通り公的施設を借りての展示会を開催したが、
(経営者)		来場者数が例年の60%であった。客の購買意欲が大変
		少ないと思われる。
自動車備品販売	お客様の様子	・依然、集客面では厳しい状況である。車販売、車両
店(従業員)		メンテナンスでは多少上向き傾向に感じられるが、単
		価の上乗せにつながらず、前年を割れている状況が続
		いている。
住関連専門店	競争相手の様子	
(店員)	TO CHILE INC.	加に伴い、10月から年末へ向けての需要が拡大するこ
(伯貝)		の時期ではあるが、当店の来客数や購入点数、単価か
		らみても、そして大手競合他社の売上減少からみても
	27 to 12 to	景気が上がっているとは思えない。
その他小売	販売量の動き	・肌寒い天候が続き、秋ものや初冬もの衣料、寝具、
[ショッピング		なべ食材の動きがよいが、買物の仕方は必要なものを
センター]		必要な量だけ買い求めており、節約志向はまだまだ根
_		強い。ただし、趣味し好性の強い商品は、積極的な興
		味を持たれている。
その他小売	販売量の動き	・映画のヒット作品に支えられた好調な集客に陰りが
[ショッピング		ある。なおかつ衣料品を中心に販売量の苦戦が続いて
レンコンレンノ		-
センター](統		いる。
センター](統 括)		いる。
センター](統 括) 観光型旅館(ス		いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価
センター](統 括)		いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きず
センター](統 括) 観光型旅館(ス		いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比
センター](統 括) 観光型旅館(ス		いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比 50%となったことが影響した。
センター](統 括) 観光型旅館(ス タッフ) 都市型ホテル		いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比
センター](統 括) 観光型旅館(ス タッフ) 都市型ホテル	来客数の動き	いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比 50%となったことが影響した。 ・足元の売上は回復基調にあるという実感がない。仕
センター](統 括) 観光型旅館(ス タッフ)	来客数の動き	いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比 50%となったことが影響した。 ・足元の売上は回復基調にあるという実感がない。仕入コストの上昇を単価に上乗せできない。価格に対す
センター](統 括) 観光型旅館(ス タッフ) 都市型ホテル	来客数の動き	いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比50%となったことが影響した。 ・足元の売上は回復基調にあるという実感がない。仕入コストの上昇を単価に上乗せできない。価格に対する見方が、消費税増税後ますます厳しくなっていると
センター](統 括) 観光型旅館(ス タッフ) 都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き販売量の動き	いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比 50%となったことが影響した。 ・足元の売上は回復基調にあるという実感がない。仕入コストの上昇を単価に上乗せできない。価格に対する見方が、消費税増税後ますます厳しくなっていると感じる。
センター](統 括) 観光型旅館(ス タッフ) 都市型ホテル (スタッフ) 旅行代理店(従	来客数の動き販売量の動き	いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比 50%となったことが影響した。 ・足元の売上は回復基調にあるという実感がない。仕入コストの上昇を単価に上乗せできない。価格に対する見方が、消費税増税後ますます厳しくなっていると感じる。 ・手配先が大変混み合っていて、予約が難しい状況で
センター](統 括) 観光型旅館(ス タッフ) 都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き販売量の動き	いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比50%となったことが影響した。 ・足元の売上は回復基調にあるという実感がない。仕入コストの上昇を単価に上乗せできない。価格に対する見方が、消費税増税後ますます厳しくなっていると感じる。 ・手配先が大変混み合っていて、予約が難しい状況であり、団体客、個人客共に前年より売上が増加してき
センター](統 括) 観光型旅館(ス タッフ) 都市型ホテル (スタッフ) 旅行代理店(従 業員)	来客数の動き 販売量の動き	いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比50%となったことが影響した。 ・足元の売上は回復基調にあるという実感がない。仕入コストの上昇を単価に上乗せできない。価格に対する見方が、消費税増税後ますます厳しくなっていると感じる。 ・手配先が大変混み合っていて、予約が難しい状況であり、団体客、個人客共に前年より売上が増加してきている。
センター] (統 括) 観光型旅館(ス タッフ) 都市型ホテル (スタッフ) 旅行代理店(従 業員) 通信会社(店舗	来客数の動き 販売量の動き	いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比 50%となったことが影響した。 ・足元の売上は回復基調にあるという実感がない。仕入コストの上昇を単価に上乗せできない。価格に対する見方が、消費税増税後ますます厳しくなっていると感じる。 ・手配先が大変混み合っていて、予約が難しい状況であり、団体客、個人客共に前年より売上が増加してきている。 ・こちらからの販売提案に対して価格ではなく何らか
センター](統 括) 観光型旅館(ス タッフ) 都市型ホテル (スタッフ) 旅行代理店(従 業員)	来客数の動き 販売量の動き	いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比 50%となったことが影響した。 ・足元の売上は回復基調にあるという実感がない。仕入コストの上昇を単価に上乗せできない。価格に対する見方が、消費税増税後ますます厳しくなっていると感じる。 ・手配先が大変混み合っていて、予約が難しい状況であり、団体客、個人客共に前年より売上が増加してきている。 ・こちらからの販売提案に対して価格ではなく何らかの価値を見出さないと購入につながらない。逆に価値
センター] (統 括) 観光型旅館(ス タッフ) 都市型ホテル (スタッフ) 旅行代理店(従 業員) 通信会社(店舗	来客数の動き 販売量の動き	いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比 50%となったことが影響した。 ・足元の売上は回復基調にあるという実感がない。仕入コストの上昇を単価に上乗せできない。価格に対する見方が、消費税増税後ますます厳しくなっていると感じる。 ・手配先が大変混み合っていて、予約が難しい状況であり、団体客、個人客共に前年より売上が増加してきている。 ・こちらからの販売提案に対して価格ではなく何らかの価値を見出さないと購入につながらない。逆に価値があると思っていただければ価格に関係なく販売につ
センター] (統 括) 観光型旅館(ス タッフ) 都市型ホテル (スタッフ) 旅行代理店(従 業員) 通信会社(店舗	来客数の動き 販売量の動き	いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比 50%となったことが影響した。 ・足元の売上は回復基調にあるという実感がない。仕入コストの上昇を単価に上乗せできない。価格に対する見方が、消費税増税後ますます厳しくなっていると感じる。 ・手配先が大変混み合っていて、予約が難しい状況であり、団体客、個人客共に前年より売上が増加してきている。 ・こちらからの販売提案に対して価格ではなく何らかの価値を見出さないと購入につながらない。逆に価値があると思っていただければ価格に関係なく販売につながることもある。景気としては上向きとは言えない
センター] (統 括) 観光型旅館(ス タッフ) 都市型ホテル (スタッフ) 旅行代理店(従 業員) 通信会社(店舗	来客数の動き 販売量の動き	いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比 50%となったことが影響した。 ・足元の売上は回復基調にあるという実感がない。仕入コストの上昇を単価に上乗せできない。価格に対する見方が、消費税増税後ますます厳しくなっていると感じる。 ・手配先が大変混み合っていて、予約が難しい状況であり、団体客、個人客共に前年より売上が増加してきている。 ・こちらからの販売提案に対して価格ではなく何らかの価値を見出さないと購入につながらない。逆に価値があると思っていただければ価格に関係なく販売につ
センター] (統 括) 観光型旅館(ス タッフ) 都市型ホテル (スタッフ) 旅行代理店(従 業員) 通信会社(店舗	来客数の動き 販売量の動き	いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比 50%となったことが影響した。 ・足元の売上は回復基調にあるという実感がない。仕入コストの上昇を単価に上乗せできない。価格に対する見方が、消費税増税後ますます厳しくなっていると感じる。 ・手配先が大変混み合っていて、予約が難しい状況であり、団体客、個人客共に前年より売上が増加してきている。 ・こちらからの販売提案に対して価格ではなく何らかの価値を見出さないと購入につながらない。逆に価値があると思っていただければ価格に関係なく販売につながることもある。景気としては上向きとは言えない
センター] (統括)観光型旅館(スタッフ)都市型ホテン旅行()旅行()連信会通信をの他レジャー	来客数の動き 販売量の動き 販売量の動き お客様の様子	いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比 50%となったことが影響した。 ・足元の売上は回復基調にあるという実感がない。仕入コストの上昇を単価に上乗せできない。価格に対する見方が、消費税増税後ますます厳しくなっていると感じる。 ・手配先が大変混み合っていて、予約が難しい状況であり、団体客、個人客共に前年より売上が増加してきている。 ・こちらからの販売提案に対して価格ではなく何らかの価値を見出さないと購入につながらない。逆に価値があると思っていただければ価格に関係なく販売につながることもある。景気としては上向きとは言えないが下向きとも言い切れない。
センター] (統括)観光型旅館(スタッフ)都市スタッフホテンフ (議員)旅行員)連信法)その他し職人の他の表記を表示している。その他の表記を表示している。	来客数の動き 販売量の動き 販売量の動き お客様の様子	いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比 50%となったことが影響した。 ・足元の売上は回復基調にあるという実感がない。仕入コストの上昇を単価に上乗せできない。価格に対する見方が、消費税増税後ますます厳しくなっていると感じる。 ・手配先が大変混み合っていて、予約が難しい状況であり、団体客、個人客共に前年より売上が増加してきている。 ・こちらからの販売提案に対して価格ではなく何らかの価値を見出さないと購入につながらない。逆に価値があると思っていただければ価格に関係なく販売につながることもある。景気としては上向きとは言えないが下向きとも言い切れない。 ・会員の入退会による増減が一進一退である。
センター] (統観光型 (来客数の動き 販売量の動き 販売量の動き お客様の様子	いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比 50%となったことが影響した。 ・足元の売上は回復基調にあるという実感がない。仕入コストの上昇を単価に上乗せできない。価格に対する見方が、消費税増税後ますます厳しくなっていると感じる。 ・手配先が大変混み合っていて、予約が難しい状況であり、団体客、個人客共に前年より売上が増加してきている。 ・こちらからの販売提案に対して価格ではなく何らかの価値を見出さないと購入につながらない。逆に価値があると思っていただければ価格に関係なく販売につながることもある。景気としては上向きとは言えないが下向きとも言い切れない。 ・会員の入退会による増減が一進一退である。 ・来客数はそこそこの水準で推移しているものの、何
センター] (統括)観光型旅館(スタッカー)都市型ホッフ (統業 (元本)施議 (元本)では、 (元本)	来客数の動き 販売量の動き 販売量の動き お客様の様子	いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比 50%となったことが影響した。 ・足元の売上は回復基調にあるという実感がない。仕入コストの上昇を単価に上乗せできない。価格に対する見方が、消費税増税後ますます厳しくなっていると感じる。 ・手配先が大変混み合っていて、予約が難しい状況であり、団体客、個人客共に前年より売上が増加してきている。 ・こちらからの販売提案に対して価格ではなく何らかの価値を見出さないと購入につながらない。逆に価値があると思っていただければ価格に関係なく販売につながることもある。景気としては上向きとは言えないが下向きとも言い切れない。 ・会員の入退会による増減が一進一退である。 ・来客数はそこそこの水準で推移しているものの、何となく来客数が増えてきている感じであり、明確な意
センター] (統観光型 (来客数の動き 販売量の動き 販売量の動き お客様の様子	いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比 50%となったことが影響した。 ・足元の売上は回復基調にあるという実感がない。仕入コストの上昇を単価に上乗せできない。価格に対する見方が、消費税増税後ますます厳しくなっていると感じる。 ・手配先が大変混み合っていて、予約が難しい状況であり、団体客、個人客共に前年より売上が増加してきている。 ・こちらからの販売提案に対して価格ではなく何らかの価値を見出さないと購入につながらない。逆に価値があると思っていただければ価格に関係なく販売につながることもある。景気としては上向きとは言えないが下向きとも言い切れない。 ・会員の入退会による増減が一進一退である。 ・来客数はそこそこの水準で推移しているものの、何となく来客数が増えてきている感じであり、明確な意欲が感じ取れない。連動してビジネスチャンスにはつ
センター(統石(統人(一(一(上(((<	来客数の動き 販売量の動き 販売量の動き お客様の様子	いる。 ・対前年売上94.0%、宿泊人数91.4%、宿泊単価 103.1%となっている。夏の天候不順の余韻を引きずり個人客が低迷したことと、インバウンドが前年比 50%となったことが影響した。 ・足元の売上は回復基調にあるという実感がない。仕入コストの上昇を単価に上乗せできない。価格に対する見方が、消費税増税後ますます厳しくなっていると感じる。 ・手配先が大変混み合っていて、予約が難しい状況であり、団体客、個人客共に前年より売上が増加してきている。 ・こちらからの販売提案に対して価格ではなく何らかの価値を見出さないと購入につながらない。逆に価値があると思っていただければ価格に関係なく販売につながることもある。景気としては上向きとは言えないが下向きとも言い切れない。 ・会員の入退会による増減が一進一退である。 ・来客数はそこそこの水準で推移しているものの、何となく来客数が増えてきている感じであり、明確な意

	住宅販売会社 (従業員)	競争相手の様子	・客から提示された他社の条件を見ると、今までにない値引き額やサービスを行っている。少ない客を取り
15 15 # Z		W/T 0 51 -	合う環境がより厳しくなっている。
やや悪く なっている	一般小売店[事 務用品](店 員)	単価の動き	・消費税の影響による買い控えが続く中で、仕入原価 が上がり利益率の減少がみられる。
	一般小売店[書籍](従業員)	お客様の様子	・アベノミクスの効果は地方では弱く、大半の業種は 顧客の購買意欲はいまだに厳しいと感じている。
	コンビニ (経営 者)	来客数の動き	・来客数の減少は相変わらず止まっておらず、前年比で10%以上の低下が続いている。客単価については、
			上昇しないとおかしい傾向なのかもしれないが、上昇 せず微減の状態が続いている。
	コンビニ (経営 者)	販売量の動き	・前月の報告と同じ内容になるが、8月末に近隣に競合店が新しく出店し同業者三大チェーンがそろい踏み
	コンビニ(店	販売量の動き	となったことにより、売上は前年比92%とあきらかに 3か月前より落ち込んでいる。 ・季節的に当然なのだが、消費税増税とそれに伴う価
	ランピー (店 長)	別が重り割ら	格の表示のクレームが思った以上に多い。以前は税込 表示を義務化していたが、現在は両方表示しているた
			め、勘違いして会計時にえっ?と言う客が少々いる。 売上は当然前年割れしているが、競合他社が県内に増
			えてから1年以上たっていることから需要と供給のバランスによる売上減少ではなく、原因はほかにあると
			思われる。飲料などの150円を上回る中途半端な価格 設定など、売上前年割れの理由を挙げるときりがな い。
	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・客の生活の中に、節約が定着してきている気がする。
	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・相変わらず売上の前年割れが続いており、好転の兆 しが感じられない。その割に人手不足もあり、人件費 を含め経費が上昇している。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新車、中古車共に受注が伸びず、新規の来客者も少ない。
	乗用車販売店 (役員)	販売量の動き	・車両販売に関しては受注、販売共に停滞している。 修理の方も車検、鈑金等が鈍い状態なので、全体とし て活気に欠けているようだ。
	乗用車販売店 (経理担当)	販売量の動き	・10月の販売量は前年同月比88%である。26年7月の 販売量は前年同月比106%だったので、3か月前比較 で下向きである。消費需要の回復はかなり遅いと考え られる。
	その他専門店 [酒](経営 者)	販売量の動き	・原因は分からないが、10月は店売りも悪く、納品しているバーや料理屋のほうも悪い。
	一般レストラン (店長)		・秋の行楽シーズンを迎え、かなり期待していたが、 例年より客足が鈍い。
	一般レストラン(統括)	それ以外	・仕入原材料価格の上昇だけでなく、一部原料では供給不足までが発生。売価に転嫁できない状況の中で原価アップだけが先行中であり、利益を圧迫している状
	スナック(経営	本 変数の動き	況である。人手不足も発生しており、新しい取り組み をする余裕がなくなってきた。 ・当店は年金生活者の比率が高くなってきていること
	者)	不合奴の割さ	から、単価が低下し客が減少してきている。地方銀行 員に聞くと、それほど給料が上がっていない中で、消 費税や年金保険料がアップし、生活が引締められてい
			るとのことである。これでは良い材料がなく、10月は マイナスだった先月よりも1割増しだが、先月と同様
	旅行代理店(従 業員)	お客様の様子	赤字になりそうである。 ・消費税増税後の回復の弱さが感じられる。
	タクシー運転手	来客数の動き	・個人消費は厳しく、財布のひもが固く、良くない。 夜の街は平日は寂しく、良くない。週末でやや人出が あり、売上が少し増加するが、全体としてはあまり良
	通信会社(役	販売量の動き	くない。 ・大手通信事業者との競合が一段と厳しさを増してお ・ 消毒税増税による家計支出抑制に向けた心理的影
	員)		り、消費税増税による家計支出抑制に向けた心理的影響もあり、契約獲得数は昨年同期に比べ落ち込んでいる。

		テーマパーク	来客数の動き	・前年同期比で3か月前と現在を比較してみると、イ
		(職員)		ンバウンド客はやや回復傾向にあるものの、国内客は
				団体、個人を問わず前年割れの状況が続いている。主
				な要因は、消費税増税や国内のバス料金の規制による
				値上がりだと思われる。また、ガソリン価格の値上が
				リなどによって旅行マーケット全体の動きが鈍くなっ
				ているように感じる。消費税増税後は特に、買物の売 上もやや減少傾向にある。
		競輪場(職員)	販売豊の動き	・1日当たりの平均売上額が、3か月前と比べ、約
		加带物(概点)	叔儿里の割ら	10%落ちている。
		美容室(経営	来客数の動き	・8月、9月、10月と3か月連続で来客数が前年割れ
		者)	ハロ奴の動し	しそうである。
		住宅販売会社	販売量の動き	・個人住宅は、消費税率アップも見込まれる中、イベ
		(従業員)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ントの来場数は多いが、契約締結まで時間を要し、競
		()		合も激しくなってきている。一棟あたりの受注金額も
				小さくなってきている。法人の設備投資は活発ではあ
				るが、利益率も厳しく、競合も激しい状況は個人住宅
				と同じである。今後一段と厳しさが増すものと予想さ
				れる。
	悪く	-	-	-
企業	なっている 良く		_	
動向	^{良く} なっている	_	_	-
関連	やや良く	繊維工業(経営	受注量や販売量	・前年に比べ受注増となっているが、まだまだ勢いが
	なっている	者)	の動き	弱い。加えて、コストアップ分の価格転嫁については
(北陸)		,		厳しい状態が続いている。
			受注量や販売量	・輸送量が増えてきていて軽油価格も以前に比べると
		当)	の動き	下がっている。
	変わらない	食料品製造業		・全体的に廉価品が増え、付加価値の高い高価なもの
		(役員)	価格の動き	が減少傾向にある。これに加えて、エネルギーコスト
				が上昇している件や、原料が為替の影響から上昇して
				いる件も含め、収益性に関して悪化傾向が続いている。
		繊維工業(経営	取引先の様子	・受注状況は、年内までは全体的に安定しているが、
		者)	נ אוי כסטלונ אר	価格面で原料高などにより採算が厳しい。
			受注量や販売量	
		品製造業(企画	の動き	が、7月以降かなり落ち込んでいる。したがって、7
		担当)		月と今の状態を比べると同じ状態が続いている。
		建設業(経営		・3か月前より手持ち工事量は大きく増えたが、まだ
		者)	の動き	完成にはなっておらず、利益としては上がってきてい
		建50米(松多田	受注価格や販売	ない。 ・受注価格競争は緩和状態が続いてきたが、一部に厳
			価格の動き	しい価格で受注するケースもみられる。
		<u>コ</u> ク 輸送業(配車担		・個人消費が回復しておらず物量の動きが良くなって
		当)	-1/21/2002 13/	いるとは、感じられない。
		金融業(融資担	取引先の様子	・先月同様、欲しいものは少し高くても購入するが、
		当)		普通の商品は相変わらず少しでも安くというマインド
				に変化はない。引き続き個人消費が今ひとつ停滞して
				いる様子で、売上が増加してきていない。また、仕入
	1			価格や輸送コストなどの上昇圧力が高まり、それを転
	1			嫁できる情勢にはまだなっておらず、苦戦をしてい る。
		司法書士	取引先の様子	○。 ・住宅地購入、住宅建築は堅調であるが、それ以外の
		口仏自工	4X J1760213K J	不動産取引が低調である。
	やや悪く	一般機械器具製	受注量や販売量	
	なっている	造業(総務担	の動き	減ってきている。
		当)		
		精密機械器具製	取引先の様子	・特に中低価格帯製品にかじを切り、それなりの量を
		造業(経営者)		生産していたメーカーも、やはり決まった市場規模内
				での競争の激化から、ここへ来て数量減や廃業、異業
		税理士(所長)	取引失の様子	種進出などを行うメーカーが更に出てきている。 ・個人消費関連の業種が苦戦している。消費税率が引
	1	が生土(別区)	み入コフレマンが火丁	上げられた後ということもあるが、実質的に給料が上
	1			がっていない。中小企業の従業員の給料が上がってい
	1			ない状況がみえることから、一般的に財布のひもは固
	1			くなっているような感じがする。若干、消費税増税の
	1			後のデフレという要素が出てきているのが、少し心配
	<u></u>			である。
	悪く			・同業者関係に話を聞いているが、なかなか購入者が
	なっている	者)	の動き	いないということである。そうした状態の中で、個人
	<u> </u>			客も出てきていないという声が多い。

	良く	-	-	-
関連	なっている			
	やや良く	-	-	-
(北陸)	なっている			
	変わらない	人材派遣会社	求人数の動き	・景気の先行きはよくなる方向に思われるが、目に見
		(役員)		えて企業側の活発化は進んでいない様子である。
		人材派遣会社	求人数の動き	・ここ最近、職種にもよるが求人数、求職者数ともに
		(社員)		減少しており、専門職などの求人の対応に苦労してい
				る。
		新聞社[求人広	求人数の動き	・10月の求人広告売上は、前年同月から4割減であ
		告](役員)		ర 。
		職業安定所(職	求人数の動き	・新規求人数は対前年比で増加している。景気がいい
		員)	3.7 (27.12.20	という話は少なくなったが、求人意欲はある程度継続
		~ /		してあるようだ。
		職業安定所(職	求人数の動き	・最近4か月の求人数の変動があまりないことから、
		員)	317 (20 20 2	状況は変わっていないと思われる。
		職業安定所(職	求人数の動き	・新規求人で、建設業、卸売業、小売業、宿泊業、飲
		員)	317 (200 200	食サービス業で新幹線開業に関連する求人が目立ち始
		~ /		めているものの、製造業において力強さが感じられな
				11.
		民間職業紹介機	求職者数の動き	・派遣及び紹介の登録者数が減少している。人材不足
		関(経営者)	3 1 14 E XX 22 E3 C	は継続している。失業中の職業訓練受講者の中に、働
		IXI (MEDID)		く意欲のない人が3~4割くらいいると聞いた。
		学校 [大学]	採用者数の動き	
		(就職担当)	14/11 E XX 47 = 11 C	干であるが増えている。
	やや悪く	求人情報誌製作	求人数の動き	・求人の数が少しだが減った。
	なっている	会社(編集者)	カベノベダズ (0) 主力 C	317(0) XXX > 0 1C 13 11% > 1C.
	14 7 CV10	新聞社「求人広	せん 数の動き	・求人広告の件数が3か月前と比べると減少してい
		告1(担当者)	クレン人女人 Vノ 主川 C	る。
	悪く		_	
	恋へ なっている	-	_	-
	よしてこの			